

ま 真室川町

議会だより

2025年4月24日

No. **170**



先生方と家族に見守られて10人のあさひっ子誕生

— 町立あさひ小学校入学式 —

新体制でスタート	2
過去最大の予算規模（3月定例会のあらまし）	4
一般質問（4人登壇）	11
請願・陳情・議会のうごき	15
勇退にあたって	16

真室川町LINE公式アカウント
@mamurogawa_town



暮らしの話題 防災 新型コロナ情報をLINEでお届け！
QRコードをスマホで読み取って友だち追加してください

新体制でスタートしました

委員会の構成

◎…委員長、○…副委員長

委員会名	人員(定数)	委員氏名
総務文教常任委員会 (総務課、企画課、町民課、 会計室、教育委員会)	5人 (5人)	◎佐藤 成子 委員 ○姉崎 園子 委員 小松 健弥 委員 平野 勝澄 委員 佐藤 一廣 委員
産業福祉常任委員会 (農林課、建設課、福祉課、 町立真室川病院)	5人 (5人)	◎菅原 道雄 委員 ○八鍬 重一 委員 佐藤 栄子 委員 高橋 秀則 委員 佐藤 正 委員
議会運営委員会	8人 (8人)	◎佐藤 一廣 委員 ○菅原 道雄 委員 八鍬 重一 委員 姉崎 園子 委員 佐藤 栄子 委員 佐藤 成子 委員 平野 勝澄 委員 佐藤 正 委員
議会広報常任委員会	5人 (5人)	◎平野 勝澄 委員 ○佐藤 栄子 委員 八鍬 重一 委員 姉崎 園子 委員 佐藤 成子 委員



■議長
高橋 秀則(塩根川)

議長あいさつ

このたびの町議会議員の改選により、議長に就任させていただきました。責任の重さを痛感しますとともに、身の引き締まる思いでございます。

町民の皆さまのご期待に添えますよう、行政を監視する機関として、微力ながら議員一丸となって尽力してまいり所存でございます。

町を取り巻く情勢は目まぐるしく変化しており、人口減少、少子高齢化をはじめ、昨年の豪雨災害復旧、DX化等、町の課題も山積する中で、議員一人ひとりに課される任務は重要になってきています。町民の皆様から議会をより身近に感じていただけるよう、また、議会活動が皆様の目に見えるよう、開かれた議会運営を工夫してまいりますので、皆様の貴重なご意見、またご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



■副議長
小松 健弥(大 向)



八鍬 重一 議員
(木ノ下)



姉崎 園子 議員
(谷地の沢)



佐藤 栄子 議員
(関栗)



佐藤 成子 議員
(新及位)



平野 勝澄 議員
(木ノ下)



菅原 道雄 議員
(木ノ下)



佐藤 正 議員
(矢の沢)



佐藤 一廣 議員
(宮町1)

- ◆最上広域水道受水団体協議会
委員 高橋 秀則
- ◆真室川町農業再生協議会
委員 小松 健弥
委員 菅原 道雄
- ◆真室川町都市計画審議会
委員 姉崎 園子
委員 八鍬 重一
- ◆真室川町民生委員推薦委員会
委員 佐藤 栄子
- ◆真室川町監査委員(議会選出委員)
佐藤 正
- ◆最上地区広域連合議会
高橋 秀則 議員
菅原 道雄 議員
佐藤 成子 議員



3月定例会で庄司喜一代表監査委員の選任について同意されました。

代表監査委員
(識見監査委員)

代表監査委員
庄司喜一氏



真室川町監査委員

3月
定例会

会期：3月6日～12日

過去最大の予算規模 ～物価高騰対策など～

令和7年度各会計当初予算

会計名	予算額	対前年比(%)
一般会計	(69億3,510万円) 67億7,800万円	(7.2) 7.3
国民健康保険特別会計	8,490万円	0.1
後期高齢者医療特別会計	1億1,440万円	3.9
介護保険特別会計	10億6,130万円	▲1.6
町立真室川病院事業会計	14億7,400万円	14.1
水道事業特別会計	(6億4,980万円) 4億6,040万円	(21.5) ▲10.4
公共下水道事業特別会計	4億 230万円	46.0
まむろ川温泉梅里苑事業特別会計	5,330万円	8.3
総 額	(107億7,510万円) 104億2,860万円	(8.9) 7.3

※2段書きの上段は、国の令和6年度補正予算に採択された事業を、令和7年度当初予算に加算しています。

基本目標5
健全で自立したまち
◆ かんたん窓口導入
……1億830万円

基本目標4
暮らしやすさを実感できるまち
◆ 真室川駅前広場の整備
……1億1090万円

基本目標3
みんなで育む学びのまち
◆ 小中学校における一人一台端末の更新等
……7710万円

基本目標2
健やかで安心して暮らせるまち
◆ 緊急通報システムの支援内容を利用者負担
なしで拡充
……380万円

基本目標1
やりがいを持って安心して働けるまち
◆ ほ場整備事業による農地の大区画化の推進
(3月補正含む)
……2億8070万円

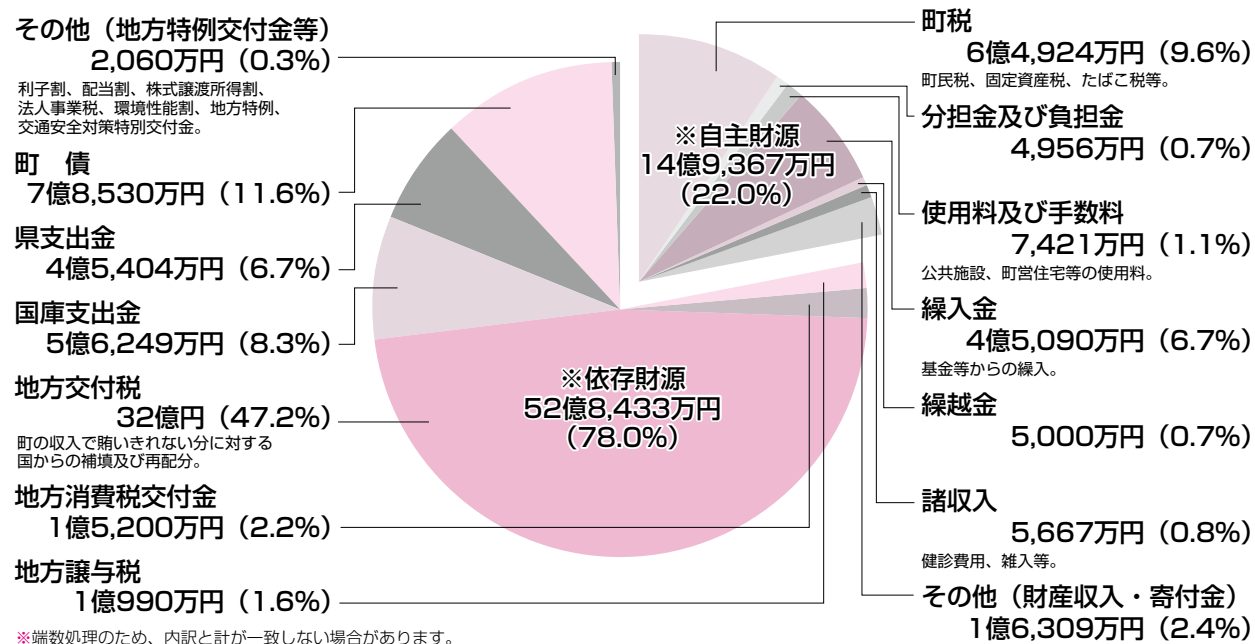
総合計画基本目標ごとの主な事業

3月定例会は、6日から12日までの7日間の会期で開かれ、条例改正・各種会計補正予算・令和7年度各会計当初予算など町長提出案件28議案と報告1件を慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決・承認されました。

- 条例改正等…… 11件
- 補正予算…… 5件
- 新年度予算…… 8件
- その他の案件…… 3件
- 人事…… 1件
- 専決処分報告…… 1件

計29件 すべて原案どおり可決・承認

一般会計 歳入

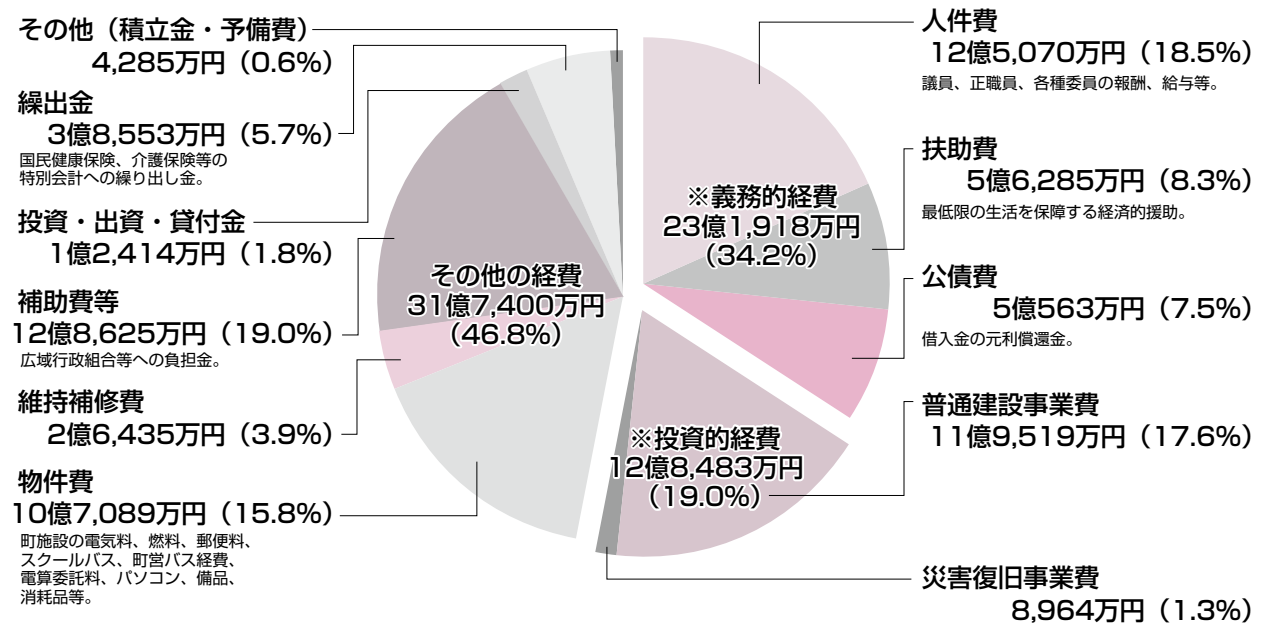


※端数処理のため、内訳と計が一致しない場合があります。

合 計 67億7,800万円

※自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。
※依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。

一般会計 歳出



合 計 67億7,800万円

※投資的経費：施設など、財産として将来に残るものの経費をいう。
※義務的経費：支出が義務付けられ、任意に節減できない経費をいう。

にぎわい創出に注力

真室川駅前広場の整備事業等

予算審査特別委員長報告 (要旨)



予算審査特別委員長
五十嵐 久 芳

一般会計 一般会計については、喫緊の課題である物価高騰対策として、地域経済活性化策事業、また子育て世代の負担軽減、新たな町中心部の公共施設複合化・集約化事業計画等、過去最高の予算規模となる積極的な予算編成となっている。

「ふるさと納税」については、返礼品の主力となる米が、全国的な価格高騰や在庫不足の問題に直面したことから寄付額の伸び悩みが見られた。今後とも需要が多く見込まれるため、新たな町のPRと十分な返礼品確保に努め、関係人口拡大や寄付額増加に期待する。また、昨年7月豪雨災害の道路水路及び農地については、生活に極力支障をきたさぬよう、今後の早期復旧を望む。

災害に強い町づくり、にぎわい創出事業として計画している「地域交流

町立病院事業会計 「公立病院経営強化プラン」に基づき、医師やスタッフの確保、リハビリ機能強化、患者の利便性向上のための新たな機器導入等、地域医療の拠点施設として、町民が安心して医療を受けられる体制の確立、医療サービスの向上、病院の安定経営に期待する。

梅里苑事業会計 梅里苑の指定管理者期間更新と併せ、キャンプ場や周辺施設、遊楽館と指定管理の範囲を拡大し、一体化した運営により、効率的な運営が見込まれる。また、状況に応じた利用料金設定や指定管理者の創意工夫により、柔軟な運営がなされ、さらなる利用者増加に向けた今後の経営に期待する。

〔一般会計〕

地域防災施設整備事業

小松正弘委員 避難所、備蓄倉庫、消防車両車庫を兼ね備えた施設の整備とあるが具体的な内容は。

総務課長 都市構造再編集中事業の一つで、国補助金1/2補助を活用する事業。旧役場庁舎跡地を活用し、質問にあった機能を有する施設を新築するため設計費用である。避難所の収容人数は約50人程度を想定しているが、近隣施設の使用や災害用と消防用の備蓄量などにより、関係者と話し合いながら規模感を検討していく。

ふるさと納税寄付金

菅原道雄委員 昨年の米不足で米価が高騰したため、ふるさと納税返礼品は米の要望が大変多く、米の返礼を終了した自治体もあった。

ようだが、米の返礼品が多い当町の状況はどうだったのか伺う。

企画課長 寄付金の額は、令和5年度は1億8千万円程、令和6年度は補正のとおり1億4千4百万円となった。

観光・物産の振興事業

小松正弘委員 観光プロモーション映像の製作とあるが、その内容は。

企画課長 これまで様々な映像を自前で作成し町のPRに活用してきたが、昨今の各市町村の状況を見るとプロが作成した映像やポス



ターを活用している事例が多くみられる。当町においても、品質の高い作品を使い、町の良さをアピールできる動画として活用するとともに、複数のポスターを作成し、幅広い町のPRを行う計画である。

キャッシュレス決済ポイント還元事業

小松健弥委員 令和6年度の状況は。また、新年度には何か新たな取組は考えているのか。

企画課長 令和6年度の事業執行状況は、GWから5月末までと11

月の2回実施した。事業費としては約1400万円ほどであった。還元率は令和5年度から10%に変更し、決業者を5社に拡大して実施している。従前はコロナ対策、その後は物価高騰対策に重きをおいて実施してきたがこの事業はDX推進という意図を持ち合わせており、そういう意味合いで事業を継続していく。

姉崎園子委員 実施時期は、いつごろの予定なのか。

企画課長 時期については、プレミアム商品券発行事業と重ならない6月、7月頃に実施予定である。

真室川駅前広場整備事業

高橋秀則委員 広場はどのような形で整備されるのか。また、植栽整備もされるようだが、駐車スペースは確保されるのか。そして今後



駅前広場整備予定地

どのように利用する予定か。また、通り抜けできるように道路整備は考えているのか。

建設課長 面積は4300平米で、形は長方形だが駅側から金山踏切に向かって少し狭くなる。駐車スペースとしては10台程度を駅側の旧常盤館さん側に整備する予定である。

真室川まつりや収穫祭、手仕事祭りなど町のイベントでの利用を 考えているし、商工会等のイベントで臨時駐車場としても活用できると考えている。

整備する場所は道路ではないので、通り抜

けできるような利用は交通安全上の理由からも現在のところ考えていない。

元氣な農業創生事業

小松健弥委員 最近では新しい手法での農業や農業資材、農業機械と進歩してきている。そのような新しい農業に対する支援も臨機応変に対応していくべきと考えるが今後の対応はどうか。

農林課長 現在、農業新規チャレンジ支援、高収益作物等支援、小規模ほ場整備支援、農業新規就業者育成支援、農業機械等購入事業の5つの事業を準備しており要件に合わせて支援している。

元氣な林業創生事業

佐藤正委員 元氣な林業創生事業の内容は。

農林課長 新規雇用者の拡大として、林業で新規に1年間継続して

雇用した林業事業体への補助金である。また、原木なめこの生産拡大への補助金である。

有害鳥獣被害対策事業

姉崎園子委員 有害鳥獣被害対策の内容は。

農林課長 新規狩猟者の確保対策として6年度より実施しており、猟免許、猟銃免許取得を支援したことにより、罾猟4名、銃所持3名、計7名の新規狩猟者を確保でき、令和7年度は16名体制での実施隊の活動となる予定。主なものは、被害対策、忌避剤の購入支援、電気柵の支援、隊員の活動費等である。

令和7年度より国の交付金が活用できるよう、2月6日に対策協議会を設立した。会長に町長、実行部隊に町の猟友会、関係機関として農業委員会等農業関係団体をお願いした。

令和7年度より国の交付金が活用できるよう、2月6日に対策協議会を設立した。会長に町長、実行部隊に町の猟友会、関係機関として農業委員会等農業関係団体をお願いした。

姉崎園子委員 檻、罾等何か所に設置予定なのか。

農林課長 箱罾8個、くくり罾100個を町で購入し、猟友会のメンバーより、近くに出没したときに設置してもらおう。立て札などを立て安全対策にも気を配る。

小松健弥委員 最近のカワウも非常に増えてきている。生息数の調査なども必要だろうし県と連携しながらの対策と思うが、町としてはどう考えているのか。

農林課長 漁協にカワウ対策の補助金を交付しているが、漁協に丸投げとはいかないので、とにかく数を減らさないとイケない。最近県ではドライアイスを使用した巣の卵を駆除する方法で実績があるとのこと。引き続き推進していくので、ご理解いただきたい。

林道橋長寿命化事業

高橋秀則委員 どういう経緯で7橋の点検を行うことになったのか。

農林課長 本町の林道橋は現在7橋あり、林野庁のインフラ長寿命化計画に則って5年に1回程度のサイクルで点検を行うものである。50年以上の橋もあり、古い橋から外観点検、機能点検を実施し、危険な施設は改修という流れで進めていく。

ほ場整備事業負担金

高橋秀則委員 高齢化により集落の機能が維持できない状況になってきている。基盤整備など農地を整備することにより個人での営農ばかりではなく法人としても農地を維持できるようにするのがいいか。まだまだ基盤整備が必要な地域があり法人参入も視野に入れ、行政として推進してい

指定管理者の範囲拡大

議案審議

◆職員の勤務時間、休暇等の条例改正

高橋秀則議員 当該条例の要件に則って職員が休暇を取得した場合、その職場での人員の確保はどのように対応するのか。

総務課長 風邪などの短期的な休暇を想定しており特に大きな影響はないと考えているが、子どもの看護等で休暇が長期にわたる場合は、これまでと同様に職場内での業務分担の調整や場合によっては会計年度任用職員を雇用し対応する。

◆職員の育児休業の条例改正

小松健弥議員 育児休業ということで長期の休業が想定されるが、

必要があるのではないかな。

農林課長 集落を維持するために基盤整備を進めてはとのことであるが、農地は個人の資産であり個人の思いが優先される。当然大きな面積を区画整備するには大勢の方の同意が必要になるし、優先すべきは個人の権利であり、次に集団で合意できるか、将来に向けた農村をどう形成していくかということまで踏み込んだ話になる。

簡単窓口導入事業

平野勝澄委員 マイナンバーカード等を使用し各種証明の申請手続きの際の氏名住所記入が不要になるシステム導入ということだが、マイナンバーカードを持たない人もいる。ここでいう「等」は何を指すか。

などを想定している。電子的に名前を読み取り、カードの盤面をスキャンし文字起こしができる機械を用意する。

緊急システム事業

姉崎園子委員 緊急システム事業の内容と対象者は。

福祉課長 来年度より緊急システムを民間委託に移行する。現在の緊急システムは、消防本部で自動受信され、通報者の状況を確認し、場合により救急車が出動。民間移行後は町委託業者の緊急通報センタリーに通報され、オペレーターが聞き取りを行い、必要な場合は救急搬送する仕組みになる。併せて、ガードマンが自宅へ急行する。また、火事の場合にも火災報知器が煙を検知すると緊急通報センタリーに通報され、オペレーターが確認を取り、消防署に出勤依頼する。

予防接種事業

姉崎園子委員 予防接種事業の内容は。

福祉課長 国の定期接種となった带状疱疹ワクチンの接種費用についての助成。対象者は、年度内に65歳を迎える方だが、経過措置として7年度には、5歳刻

みで接種費用助成を行う。100歳以上は全員が対象である。種類は、生ワクチンと組換えワクチン2種類がある。補助内容は、生ワクチンの場合、接種回数が1回、町の助成額は4千円、組換えワクチンの場合の接種回数は2回、1回あたりの助成額が1万円、2回接種で2万円の助成となる。

が経過するため、7年度に更新し、8年度より利用開始するための予算計上である。今回、国では県単位で基金を設け、県内市町村が協議会を設置し、端末については共同購入予定で、520台購入する見込みである。

【病院会計】

テイングを行い、患者さんや家族への気配りや対応を考える。訪問看護師が37名の在宅医療の推進を図る。

町長へ提言書提出

令和7年第1回定例会において、議会からの政策提言書を町長へ提出しました。



佐藤議長から新田町長へ提言書を手交

在は入浴客、日帰り客、宿泊客ともすべて最高の水準となつていていることから、管理者制度は、効果的な経営をもたらしたと判断している。

◆梅里苑設置管理条例

高橋秀則議員 内容の詳細説明を。利用料の変更は利用者数に影響がないのか。

企画課長 物価等の上昇に対応するため、宿泊料と入浴料の変更を行う。条例の性質上、この金額を上限として指定管理者と協議をしながら料金設定していく。また利用客数に影響も懸念されるが併せて指定管理者と協議をしていく。

◆梅里苑体験交流の森設置管理条例

小松健弥議員 利用料

改正の条例変更であるが、利用料を前もって利用者にしつかり周知をしないといけないと思うがどう対応するのか。

企画課長 料金変更の周知方法については、議決後速やかに指定管理者と協議を行い対応していく。

◆一般会計補正予算

避難所資機材購入費

平野勝澄議員 折り畳みベッドやパーティションの導入で災害時の避難所の環境改善が進み、歓迎できる。どの規模の避難所に設置するのか。また、どのぐらいの避難者に対応できるか。

総務課長 県の示す最大の避難者数、人口の5%を想定し必要な量を購入している。備蓄倉庫はこれまでに従来

総務費国庫補助金

姉崎園子議員 物価高騰対応重点支援創生臨時交付金の内容と使途は。

総務課長 国県支出金からの補助金で、物価高騰対策費として、宿泊事業者支援、プレミアム商品券発行事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業、事業者支援、低所得世帯物価高騰対策給付金等に

あてている。

小災害復旧事業費補助金

佐藤正議員 小災害緊急対策補助金の内容は、**農林課長** 県の補助金で補助率1/3。1億6000万円の1/3を歳入見込みとして当初予算で計上しており、決算の見込みが立ち減額になった。内訳は、農業用施設が、3100万円、林業施設が、133万4000円、農業用水確保対策補助金は、金山川からの用水路が災害により使用できなくなったことから、別途用水を確保したものの。農業等購入事業費補助金は、災害により通常以上に農薬を散布した方への補助金であり、減額330万2000円である。

新型コロナウイルス接種委託料

小松正弘議員 新型コ

ロナウイルスワクチンの接種の状況と予算減額の理由は、

福祉課長 前年度実績から70%の接種率で予算計上したが、接種率が伸びず、約24%の方しか接種しなかった。本人の希望による接種のため残額を減額した。**高橋秀則議員** 接種率が下がった理由をどのようにとらえているのか。予約等の手続きが窓口対応しかできなかったことは影響していないのか。予約窓口として及位と金沢両診療所を活用して欲しいと考えている。

福祉課長 当町のみならず管内全体の接種率が低い中で、当町には町立病院があるため比較的接種率が高い方である。接種を受けない理由としては、既に罹患したことがある、又は今まで全く罹患し

たことがないと聞いている。町立病院での接種者が多かったことから、受付方法に関しての影響は無かったと認識している。

て、事前に接種者の情報や必要な書類を確認し予約表をお渡しし、電子カルテへの予約入力やワクチンの準備を行っている関係から、電話での対応は難しいということをご理解いただきたい。

その他の議案

- ◆町監査委員の選任への同意
- ◆刑法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例制定
- ◆議会議員報酬等に関する条例改正
- ◆特別職職員の給与に関する条例改正
- ◆マイナンバーカード法改正に伴う関係条例
- ◆一般職の職員給与条例改正
- ◆地方公務員法改正に伴う関係条例改正
- ◆町立真室川病院条例改正
- ◆辺地総合整備計画の変更
- ◆あさひ小給排水管工事変更契約
- ◆介護保険会計補正予算
- ◆病院事業会計補正予算
- ◆水道会計補正予算
- ◆梅里苑事業会計補正予算

(※議案名は簡略標記しています)

「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

町政を問う

(●印は要約して掲載しています)

1. **小松 正弘 議員** P11
●社会情勢の変化から見えてきた町の新たな課題は
2. **平野 勝澄 議員** P12
●福祉介護施設の閉所について
3. **姉崎 園子 議員** P13
●秋山スキー大会について
4. **小松 健弥 議員** P14
●「終活」への行政支援の現状と課題は

■社会情勢の変化から見えてきた町の新たな課題は

町 長

□来年度中に前期総合計画の総括を行いつつ、令和8年度後期計画を策定



小松 正弘 議員

議員 第6次総合計画は、新型コロナウイルススへの感染拡大や、地球温暖化による気温の上昇で夏季間の猛暑など社会情勢や環境変化のなかスタートを切り4年が経過した。その間810人も人口減少が進んでいる。又、昨年7月には豪雨災害が発生、令和8年度には町中央公民館新築の計画など、当初予想していなかった事案も発生していることから、社会情勢の変化に対応した内容の改定など、見直すべき点はないものか伺う。

重要な計画であると考えている。ここ5年間の社会情勢の変化には、気候変動による自然災害の激甚化、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による影響、DXの急激な進展、地域コミュニティの希薄化、生活インフラの老朽化などがあげられる。大規模災害においては、被災者対応が見直しされ、被災者の身体的な安全の確保や避難所の生活ストレスの低減などが求められている。又、防災上の予防措置として河川の浚渫やハザードマップの更新、自主防災組織の育成などを計画的に進める必要がある。新型コロナウイルスの影響では、「在宅勤務」、「オンライン授業」、「電子決済」などのデジタルトランスフォーメーション

(DX)があり、対応として児童生徒一人あたり一台のパソコンを国の要請で配備。他にも、税のコンビニ収納やマイナンバーカードを活用した諸証明書の交付、役場窓口でも「書かない窓口」の整備を計画、町民への利便性をアップしたい。更には、地域コミュニティの希薄化により、お祭りや伝統行事などの地

域行事の慣習の見直しも課題。インフラでは、公共施設長寿命化計画を策定し、優先順位に基づいて維持修繕に努めていく。高齢者社会への対応では、路線バスやデマンドタクシーといった地域公共交通施策を展開している。ほかにも課題はたくさんあるが、今後は、今までの総括を行いながら後期計画を策定する。





平野 勝澄 議員

■福祉介護施設の閉所について

町長

□必要なサービスが提供できるよう、各事業所と一層の情報共有に努める

議員 昨年末、真室川町と新庄市に事業所を持つ福祉介護施設が閉所となった。利用者とその家族、事業所労働者にとって衝撃だったと思う。その経緯と、その後の利用者や労働者の状況、今後の地域包括ケア計画に影響は出ないのか伺う。

町長 昨年12月6日に、施設管理者から町担当者に対して同月30日をもって廃業する旨のお知らせと入所者の次の入所先の調整について協力依頼があった。廃

業の要因としては、コロナ禍で落ち込んだ収益が戻らなかったことや賃金・物価の上昇などにより経営が困難になったとのことだった。これを受け、県と本町を含む関係市町村では、特別養護老人ホームなどの施設の空き状況を調査・提供するなどの調整を行い、12月末までに、すべての施設入所者、デイサービス利用者の受け入れ先が決定している。訪問介護はそれ以前から休止していたため影響はな

った。職員の再就職や給与支払い状況については町としては把握できる立場にはないが、当事者からの相談があれば対応していく。

その他の質問 これからの介護需要に因應されるかについては、町内及び管内の事業所の協力もあり、全ての方の入所先などが決定している状況から、現時点では大きな影響は出ていないものと考えている。引き続き、高齢者人口の動向やサービスの利用状況を注視し、必要なサ

町長 かつて運営していたが、平成14年に社会福祉法人まむろ川福祉会に事業継承した。



■秋山スキー大会について



姉崎 園子 議員

教育長

□走り切る経験にも教育的な意味があると考える

議員 1.開催時期の見直しの考えは。(各種大会の時期との関係から参加が見込めないのではないか)

2.技術的なレベルに合わせた種目の設定は。

教育長 秋山スキー大会は、昭和11年、真室川営林署長が「地域の子供たちに希望と明るさを与えたい」と最上郡北部学童スキー大会として開催されたのが始まりで、今日まで80回を超える歩みを重ねてきた。活躍した選手が成長し、国体やオリンピックに出場するなど、この大会が競技者の育成や町のPRに果たしてきた役割は大きなものである。町内参加者の減少、暖冬小雪山の増加という大きな課題解決を図るため、第82回大会より小体連スキー大会を発展的に解

消し、町内5・6年生が参加する形とし、開催時期も2月上旬に変更した。

1.秋山スキー場の標高は約180m程度で他のスキー場と比較しても積雪量が安定しておらず、近年は雪不足が続いている。3月上旬となると雪が解け始め、雪の確保のために対応に苦慮する年が増えていた。加えて、令和4年度より公立高校の受験日が1週間早まったことから実行委員会の了承を得て、2月の第2日曜日に早めた。関係各所と調整を図り日程を決定した経過があり、開催時期の関係で参加が見込めないことはない。

2.令和4年度の大大会から、実行委員会や町校長会、町小学校体育連盟評議員会を含む各

方面から意見を伺い、大会要項を見直し、フリー走法とした。スポーツ少年団に参加していない児童でも体力的に完走が可能と思われる距離として男女とも800mスプリント競技とし、リレー競技についても児童数減少を考慮し、男女800m×2人とした。大会事務局では、スポーツ少年団や各校から提出されたリストをもとに、

①早いランクの順にスタートする、②同レベルの児童は同じ組にする、③技術的な違いについても最大限の配慮をする、といった観点をもち競技運営をしている。走り切る経験にも教育的な意味があると考えられる。技術的なレベルに合わせた競技種目の設定については、長く続く大会となるべく、十分配慮してきたと考えている。





小松 健弥 議員

町長

「終活」への行政支援の現状と課題は

□引き続き相談者に寄り添った丁寧な対応を心掛けていく

議員 本町では、令和6年1月末時点で、自宅で高齢者の方が一人暮らしをされている世帯数が428世帯で、内75歳以上の方が385世帯とのことである。行政運営上、多方面でしっかりとサポートしていく必要があるわけだが、本町における終活的な内容に関するサポートなど現状の対応はどのようなになっているのか、また、今後の取り組みについて行政としてはどう考え、どう取り組んでいくのか伺う。

町長 終活とは、一般的には自らの死を意識して人生の最後を迎えるにあたり様々な準備を行うことを言い、ご自身が家族や周囲の人に迷惑をかけないようにするための行動でもある。具体的には不用品などの持ち物の処分や預貯金、不動産、有価証券、保険などの資産整理、ご自身の意思を伝えられない状態になった場合の医療・介護を受ける際の希望、葬儀・お墓についての

希望、相続のための遺言書作成などが挙げられる。町では日頃より様々な相談を受けており、その中には、相続についてなど終活に関する相談もある。

ご本人やそのご家族に判断していただいている。

引き続き、住まい、医療、介護、介護予防、生活支援などの相談を受けるとともに、適切な相談先を紹介するなど、相談者に寄り添った丁寧な対応を心掛けていく。



請願

●ロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナの即時停戦等の実現を求める国への意見書採択を求める請願書

【提出者】
学校給食の早期無償化をめざす山形県民の会

【紹介議員】
代表 高木 紘一
小松 正弘

【結果】採 択

※意見書として関係大臣に提出

【提出先】
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

●国による学校給食の無償化を求める意見書の提出について

【提出先】
衆・参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣

陳情

●建設振興策に関する要望書

【提出者】

一般社団法人 山形県建設業協会
会長 太田 政往

議会のうごき

令和7年1月～4月

1月28日(火) 最上県勢懇話会

2月2日(日) 川又義弘氏 大高根農場記念山形県農業賞受賞祝賀会

9日(日) 秋山スキー大会

12日(水) 県町村議会議長会定期総会

20日(木) 最上地方町村議会議長会定期総会、最上市町村議会議長会定期総会、同議長・副議長合同会議

21日(金) 町議会全員協議会、最上広域市町村圏事務組合議会議員懇談会

26日(水) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会

27日(木) 町議会運営委員会、同全員協議会

3月3日(月) 新庄神室産業高校真室川校卒業式

4日(火) 最上地区広域連合議会定例会

6日(木)～12日(水) 町議会第1回定例会

14日(金) 真室川中学校卒業式

16日(日) 真室川町グラウンドゴルフ協会定例総会

18日(火) 町立小学校卒業式、町都市計画審議会

19日(水) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会

22日(土) たんぼぼこども園卒園式

25日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会定例会

26日(水) 町立保育所修了式

4月1日(火) 町議会第1回臨時会

4日(金) たんぼぼこども園入園式、保育所入所式

7日(月) 真室川中学校入学式

8日(火) 町立小学校入学式、新庄神室産業高校真室川校入学式

○議会広報常任委員会の開催 (3/27、4/3・9・15)



■全国町村議会議長会表彰

○議員15年以上・佐藤 正 議員 ○特別表彰……佐藤 一廣 議長

■山形県町村議会議長会表彰

○議員39年以上・佐藤 一廣 議長 ○議員23年以上・五十嵐久芳 議員

○議員11年以上・菅原 道雄 副議長・平野 勝澄 議員・高橋 秀則 議員

全国・山形県町村議会議長会から表彰されました

議会活動等を通じ、地方自治の進展のために大きな役割を果たしていると高く評価された町村議員に対し、その功労に報いることを目的に全国及び山形県町村議会議長会から表彰されるものです。

※議員へ配布のみ
●国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての陳情

【提出者】

沖縄に応答する会
※議員へ配布のみ

代表 漆山ひとみ

勇退にあたって



前真室川町議会議員
五十嵐 久芳

6期24年間、微力ながら議会議員として職責を務めさせていただくことができました。町民の皆様のご支援、ご協力の賜物と厚く感謝とお礼を申し上げます。

この間、議会議長、議会選出の監査委員等、議会活動の重責を務めさせていただき、人生の中で大変貴重な経験になりました。

議員活動は、人口減少対策を基本に豊かな町・住みたい町を造ろうと歩んできました。なかでも町の重要課題について国会議員への要望活動、真室川校存続に關しての県教育委員会への要望活動を実施した事などが思い出されます。

今後は体の許す限り農業に励みたいと思っております。変わらぬご厚情をいただけましたらうれしいです。真室川町、真室川町議会の益々のご発展と、町民の皆様のご多幸を祈念し、退任のあいさつとさせていただきます。

議会事務局人事異動

前事務局長(町民課へ)

加藤 清美

新事務局長(会計室より)

青柳 洋児



お世話になりました。

よろしくお願いいたします。

傍聴お待ちしております

● 次回の定例会は

6月です

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.manuogawa.amagata.jp/chosei/gikai/index.html>

お問い合わせは

議会事務局まで

0202-22200 (直通)



編集を終えて

選挙を経て、4月1日から議会は新体制。議会広報も新しいメンバーとなりました。今号は概要企画と録音からの文字起こし、原稿作成、第一次校正までが旧メンバーの仕事、それ以降の校正と仕上げが新メンバーによるものです。4年前は選挙のため発行を2週間遅らせましたが、今回は通常通りのスケジュール。原稿締切は選挙告示前日の3月17日で、定例会閉会から1週間足らずでした。

町民の方々と対話するなかで「もっと議会のことを知らせて」「議員が何をやっているのか見えない」などのご意見をいただきました。これに応え、また次の担い手確保のためにも、より開かれた議会をめざし、広報メンバー一丸に頑張っています。どうぞよろしくお願いいたします。(平野勝澄)

議会広報常任委員会

委員長	平野勝澄
副委員長	佐藤栄子
委員	八木重一
委員	姉崎園子
委員	佐藤成子